

# 平成30年度 田尻さくら高等学校 学校評価 補足資料

## 学校評価の意義

(高等学校に準用)

小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。  
[学校教育法第42条]

## 回収率

生徒:昨年度75%→今年度78%(1年次94%, 2年次64%, 3多年次83%)

2年次は長欠者が他の年次より多い。長欠者を除いて、生徒の回答方法については、昨年度は空欄があったり裏面が記されていなかったりしたが、今年は細やかな指示があったので、空欄が少なかった。

保護者:(H27)48%→(H28)65%→(H29)59%→今年度64%

今年度は2期の成績通知表とともに配付したが、今後とも工夫して回収率を上げていきたいと考える。

教員:(H28)85%→(H29)100%→今年度100%

今年度も係の菅原伸江先生の声掛けで回答数が100%と完璧な数値となった。

肯定的評価: =「1よく当てはまる」+「2だいたい当てはまる」

校訓・教育目標		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生3	校訓を知っている。[本校の校訓 (1) 自律 (2) 進取 (3) 誠実]	79	66	13
保1	「教育目標」を理解している。	90	94	-4

学習指導		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生5	田尻さくら高校の特色である少人数授業は、授業内容を理解するのに役立つ。	96	90	6
生12	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	89	80	9
保2	田尻さくら高校は子どもの教育に熱心に取り組んでいる。	90	99	-9
保5	お子様は、学習の仕方や内容を身につけている。	70	74	-4
保6	田尻さくら高校の特色である少人数授業は、授業内容を理解するのに役立つ。	97	96	1
保12	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	92	89	3

生徒の少人数授業による授業内容の理解が96%と、評価の割合が大変高くなっている。今後も一人ひとりの学びの状況をきめ細かく把握し、手厚い授業の実践が必要であると思われる。保護者もそのことを望んでいる。(保護者肯定的評価97%)  
しかしながら、その実態は、定員に対する入学者の割合が少ないことが少人数教育につながっている。

図書館の利用		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生6	図書館は利用しやすい雰囲気である。	84	83	1
保7	お子様たちの学習や読書活動に図書館が役立っている。	73	81	-8

図書館については、生徒の肯定的評価が昨年度も今年度も8割を超えており、生徒の教育に大変寄与していると思われる。  
生徒図書貸し出し数は今年度4月から11月まで、366冊。(H29...651冊 昨年度は100以上借りる生徒が数名在籍していた。)

生活指導		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生7	生徒指導は、社会常識を踏まえており、適切である。	89	87	2
保8	生徒指導は、社会常識を踏まえており、適切である。	88	89	-1

生13	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	93	86	7
保13	挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	88	84	4

挨拶やマナーについて、平日頃から教職員が授業や廊下等で挨拶をしている姿が生徒に伝わってきているように感じる。マナーについては、公共の場におけるルールを継続的に粘り強く生徒に伝えていき社会に通用する人材を育成したい。保護者もこのような指導を望んでいる。(保護者肯定的評価88%)

愛好会活動		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生16	愛好会活動は活発に行われている。	82	54	28
保16	愛好会活動は活発に行われている。	71	63	8

肯定的評価が昨年度よりも28ポイントプラスになった。前年比の中で一番高い数値である。オリエンテーション等で生徒に活動の大切さを意識させながら教員も常に働き掛けていった結果であろう。

自治会活動		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生17	自治会活動は活発に行われている。	81	56	25
保17	自治会活動は活発に行われている。	85	80	5

愛好会活動と同様に前年比の中で一番高い数値である。

学校行事		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生18	球技大会や高校祭、講演会など、有意義な学校行事がある。	93	81	12
保18	球技大会や高校祭、講演会など、お子さんにとって有意義な学校行事がある。	93	92	1

進路指導		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生8	進路に関する資料はわかりやすい。	92	84	8
生14	進路志望別見学会や進路講話など、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	97	92	5
保9	進路に関する各種情報が適切に提供されている。	93	91	2
保14	進路志望別見学会や進路講話など、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	94	94	0
生徒、保護者からも高評価であった。進路指導について、常に出口を意識しながら、さらに、社会で活躍できる人材の育成に教職員は全ての教育活動で指導していくべきであると感じた。				

生徒の健康管理		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生9	保健室は利用しやすく、自分の心身の健康管理に役立っている。	83	75	8
保10	学校としてお子様の心身の健康管理に努めている。	84	93	-9
生10	日常の清掃活動にまじめに取り組んでいる。	83	77	6
保11	学校として日常の清掃活動がなされており、衛生的である。	94	88	6
清掃活動への取り組みについて、基本的な生活習慣に関する指導全般が生徒へ浸透し、昨年度よりも肯定的評価が上昇した。今後ともSHRの指導時間の工夫とともに清掃指導をしっかりと行っていきたい。				

災害時の避難・連絡		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生11	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	90	87	3
保20	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	84	93	-9
災害・非常時の安否確認メールの練習やすまいる園との合同避難訓練は生徒の防災に対する意識付けに役立った。いつ災害が起こるか分からないことから、今後とも教職員が防災に関する意識を高く持つことが大事であり、常時防災マニュアルを確認する必要がある。保護者の回答も肯定的な回答(84%)が高いが前年を下回っているため、周知していかなければならない。				

特色ある学校づくり		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生19	田尻さくら高校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	87	73	14
保19	田尻さくら高校は、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	89	91	-2

学校の情報		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生20	保護者に対して、田尻さくら通信やさくらメールなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	90	83	7
保21	保護者に対して、田尻さくら通信やさくらメールなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。	95	90	5
HP、メール配信、そして、田尻さくら通信等を通して、保護者や地域に学校の情報が適切に伝わっている。				

校舎等の施設設備		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生21	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整っている。	83	76	7
保22	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	93	90	3

教育相談		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生15	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカーが必要ときに相談に応じてくれる体制ができている。	87	84	3
保15	教員やカウンセラー、ソーシャルワーカーが必要ときに相談に応じてくれる体制ができている。	95	93	2
SC、SSW、そして、精神保健研修会について、教育相談体制も共有され適切に活用されている。				

いじめの早期発見・共有		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生22	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	71	69	2
保23	学校と保護者が、いじめ問題に対する取組方針を共有している。	76	76	0
いじめに関する指導については、日頃から授業、SHR等を利用して今後とも常時把握に努め、職員間でしっかりと共有する必要がある。				

PTA活動		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
保4	PTA活動は活発であり、積極的に参加している。	46	50	-4
PTA活動については、保護者自身の「積極的な参加」についての自己評価なので、否定的評価の割合が高いのは当然であろう。しかしながら、現状をしっかりと把握した上で、総務部の先生方を中心とした働きかけが今後も必要であろうと思われる。				

学校生活の充実度		H30 肯定的評価	H29 肯定的評価	前年比 +肯定的 -否定的
生4	田尻さくら高校に入学して良かった。	85	84	1
生23	学校生活はとても充実している。	76	75	1
保3	お子様を田尻さくら高校に入れてよかった。	94	91	3
保24	お子様の学校生活は充実している。	80	84	-4
保護者の多くは、田尻さくら高校に子どもが入学してよかったと考え、学校が熱心に教育活動に取り組んでおり、子どもの学校生活は充実していると感じている。今後とも先生方の共通理解のもと、様々な支援について、指導方法を検討し工夫していかなければならないと感じる。				